

# 新潟市歴史資料だより

## 資料紹介

### 沼垂町 川合家文書

川合家文書は、江戸時代中期から明治期に及ぶ800点余りの文書です。川合家（河合とも記されます）は江戸時代、沼垂町役人でした。文書には沼垂町に関するもののほか、紫雲寺潟の開発に関するもの、信濃川や阿賀野川の漁業に関するものなどがあります。新潟市史編さんの際に寄贈されました。

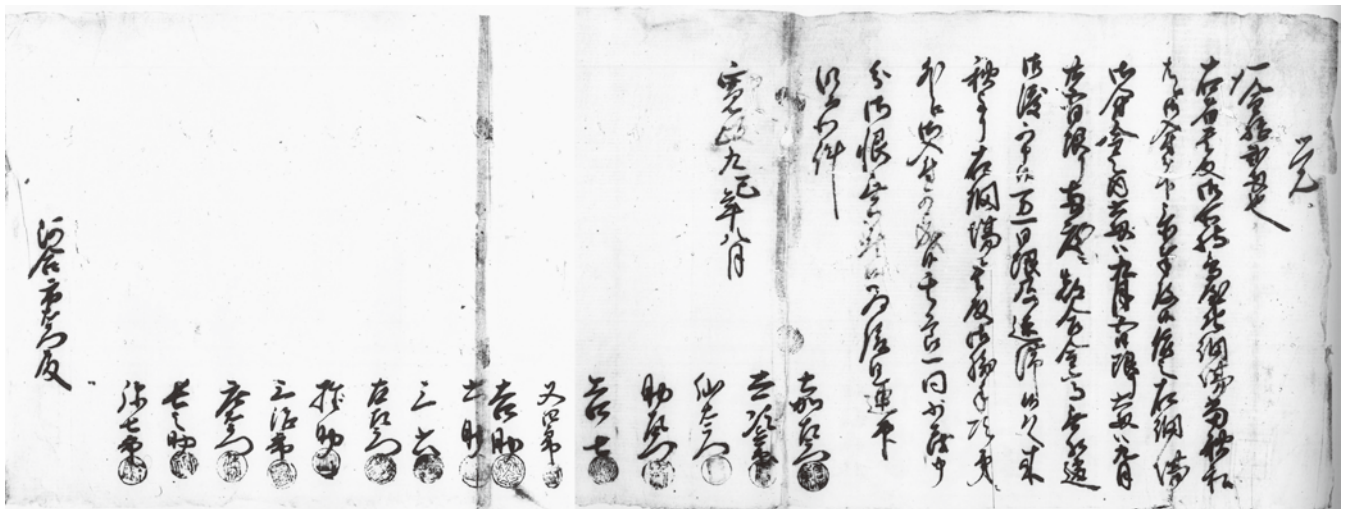
掲載した文書は、寛政9(1797)年8月に嘉左衛門ほか14名から河合市右衛門に出された、鳥屋野網場の貸付料(入付金)の支払いについての覚書です。鳥屋野網場は、信濃川右岸の網川原新田から出来島新田(どちらも中央区)の間の漁場で、川合家が漁業権を持っていました。川合家は漁業権を漁師に貸

し付けて(これを入り付けといいます)、入付金と呼ばれる貸付料を徴収していました。

文書には、入付金12両を9月5日と25日の2回に分けて6両ずつ間違いなく支払うこと、万一、支払いが遅滞した場合には、来秋から漁業権を他人へ貸し付けられても少しも申し分や恨み言などは言わないことが記され、嘉左衛門ほか14名が連印しています。

旧暦では7~9月が秋で、この年の9月25日は西暦の11月13日に当たります。嘉左衛門たちは信濃川を上ってきた鮭を獲ったのでしょうか。信濃川の鮭漁には、地引網(大網)のほか、刺し網や筒を川底に仕掛ける漁などがありましたが、嘉左衛門たちがどのような方法で鮭を獲ったのかは不明です。

幕末期、川合家はさらに漁業権を買い集め、信濃川べりの代表的な大網元になりました。



覚

一、金拾貳両也

右者貴殿御所持鳥屋野網場、当秋私

共江御入付被下忝奉存候、依之右網場

御入付金之内、六両八九月五日限り六両八九月

廿五日限り、両度ニ都合金高無相違

御渡可申候、万一日限及遅滞候ハ、来

秋より右網場ニ貴殿御勝手次第ニ

外江御入付可被成候、其節一同少茂申

分御恨無御座候、為後日連印

仍而如件

寛政九巳年八月

嘉左衛門 印

太次兵衛 印

仙右衛門 印

助左衛門 印

吉七 印

又四郎 印

吉助 印

六助 印

三六 印

太左衛門 印

権助 印

三治郎 印

庄右衛門 印

長之助 印

弥七郎 印

河合市右衛門殿

## 公文書分類センターの業務進む

合併により旧市町村から引き継いだ公文書等の散逸防止と歴史的文書の保存を目的として、各出張所庁舎内に設けた6か所の公文書分類センターに、約2万箱の長期保存文書（一部有期限文書を含む）が収納されました。歴史文化課では平成19年から、これらの文書の整理・目録作成業務を行ってきました。業務の内容を紹介します。

まず、箱の中の文書を年代順に並べ、それぞれの文書に通し番号を付けます。箱の番号（親番号）と各文書の番号（子番号）の組合せを文書番号として、それぞれの文書を検索できるようにします。文書の形態が簿冊やファイル、封筒入り、一紙など様々なので、どれが一つの文書のまとまりか判断が難しい場合もあります。

次に、各文書の収納場所、文書番号、文書名、文書の完結年などをパソコンでデータ入力します。文書名や年代が書かれていない場合は、内容を確認して入力します。

作成した目録は、今後、歴史的文書の選別や文書の管理に活用します。



味方公文書分類センター収納文書



小須戸公文書分類センター収納文書

## 歴史資料に関する主な事務内容

### ■資料の公開

歴史資料整備室では、古文書等の複製資料や図面・写真、行政刊行物などを公開しています。旧更正図は横越公文書分類センター（江南区役所横越出張所3階）で公開しています。横越センターをご利用の際は、事前に歴史資料整備室へご連絡ください。どちらも1枚10円（カラーは1枚70円）で複写（コピー）できます。

### ■資料の保存

歴史資料整備室では、新潟市史編さんで収集した資料や寄贈資料等の整理を行っています。

また、資料のマイクロフィルム撮影と焼付による複製本を作成しています。今年度は、豊栄市役所文書（江戸から昭和期の資料、市指定文化財）の複製本を作成中です。

### ■資料の所在調査

民間に所蔵されている歴史資料の所在や現況・分量を把握するため、平成17年度から合併市町村を対象に資料の所在調査を実施しています。今年度は江南区の横越地区を調査しています。9月末までに27か所の調査を行いました。目録がないものは、一部を整理して記録に留めるようにしています。

### ■公文書分類センター

市内6か所の公文書分類センターに収納された文書の整理・目録作成を行っています。今年度は小須戸センターと月潟センターの収納文書約3,500箱の整理・目録作成を行っています。



■歴史講座の開催

歴史資料を読み解きながら新潟の歴史を学ぶ、講座「古資料が語る新潟の歴史」を10月8日から11月5日まで全4回、新潟市生涯学習センター（中央区礎町通3）で開催します。詳しくは歴史資料整備室にお問い合わせください。

■歴史双書の刊行

「新・新潟歴史双書」の第5巻目として、今年度は『新潟の鉄道と駅』（仮称）を刊行します。四六判、約160ページ、平成22年3月刊行予定です。

■黒崎市民会館歴史展示コーナー

黒崎市民会館（西区鳥原）の1階ロビーに黒崎地区の歴史を紹介する小展示コーナーがあります。10月から「黒崎地区のうつりかわり」の展示を行います。

歴史文化施設紹介

— 新潟市會津八一記念館 —

會津八一（明治14～昭和31年）は、古町通五番町（中央区）出身の美術史家・書家・歌人で、秋艸道人または渾齋という号で多くの書や歌を残しました。昭和26（1951）年には、郷土の文化振興に尽力した功績により新潟市名誉市民になりました。

新潟市會津八一記念館は、八一の作品・遺品を収蔵し、その業績を広く伝えるため、昭和50（1975）年4月に財団法人會津八一記念館としてオープンしました。平成10（1998）年に収蔵品と共に市に寄贈され、新潟市會津八一記念館と改称しました。

展示室では年3回の企画展と年1回の特別展が開催され、企画にあわせて、八一の書や書簡・原稿のほか、愛用の筆・硯・眼鏡・懐中時計などが展示されます。館には、このほかに9,900点以上に及ぶ作品・遺品が収蔵されています。

<案 内>

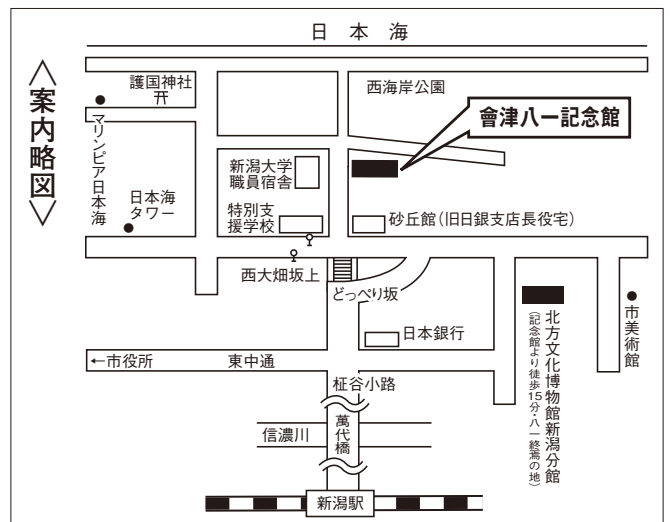
- ・開館時間：午前9時～午後5時
- ・休館日：月曜日（祝・休日の場合はその翌日）  
年末年始、展示替えのため臨時に休館することがあります。
- ・入館料：一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円（団体20名以上は一般400円、大学生240円、高校生160円、小・中学生80円）。土・日・祝日は小・中学生無料
- ・所在地：新潟市中央区西船見町5932-561
- ・電話：025-222-7612
- ・交通：JR新潟駅前（万代口）バスターミナルから浜浦町行きバス乗車。「西大畑坂上」下車。徒歩約5分  
JR新潟駅から車で約15分



新潟市會津八一記念館



展示室



## 写真紹介

## 他門川の住宅街

右に掲載した写真は、昭和37（1962）年9月に撮影された「他門川住宅地区改良事業現況写真」のうちの3枚です。この「現況写真」は都市計画課から引き継いだもので、台紙アルバムに他門川住宅の全部の写真が貼られています。

他門川は、中央区の上大川前通・<sup>まぐさかわ</sup>秣川岸通と新島町通・月町との間を流れていた川です。市街地を流れる大きな川で、大正14（1925）年には川幅が約18メートルでした。第二次大戦中に川幅が半分に埋め立てられ、埋立地には戦後、引き揚げ者などの仮住宅・仮店舗が建てられました。衣料品店や飲食店が多く、220軒余りが細長く並んでいました。

川がほとんど流れず不衛生なことと、道路の拡張のため、昭和38年から本格的に埋め立てられ、他門川も写真の住宅街も姿を消しました。

埋め立て後には、鉄筋コンクリート3階建ての改良住宅が建てられました。さらにその後、改良住宅も撤去され、今は広い道路（秣川岸通線）になっています。

**写真1** 月町から新堀通へ渡る所に架かっていた船江橋から、下流方向を撮影した写真です。住宅街の裏の川面に肥やし舟が浮かんでいます。川は水深が浅く、水草が生え、よどんでいました。

**写真2** 川岸には建物がひしめくように建てられ、一部が川にせり出しています。橋の親柱には「たもんはし」と書かれています。他門橋は新島町通二丁目と秣川岸通一丁目の間に架かっていました。

**写真3** 写真2の建物の通りに面した表側です。洋服店や履き物店が並んでいます。通りには自転車や荷車が置かれています。和服姿の女性が向こうへ歩いていきます。



写真1 船江橋から下流方向



写真2 他門橋から上流方向



写真3 建物の表側

## お願い

歴史資料の所在調査を実施しています。江戸時代や明治～昭和期の文書・写真、戦中・戦後の記録などがありましたら、ご連絡ください。また、お持ちの古文書等の保存方法についての心配ごとがありましたら、歴史文化課までお知らせください。

編集・発行 新潟市文化観光・スポーツ部  
歴史文化課（担当：歴史資料整備室）  
〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目425-9  
TEL 025-226-2584  
FAX 025-230-0412  
Eメール rekishi@city.niigata.lg.jp